

平成30年度 授業改善推進プラン 音楽科

平成30年8月 大田区立志茂田中学校

(1)音楽科における昨年度の改善プランの検証

観点	検証
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 生徒は前向きな態度で授業に取り組むことができる。 毎時間の目標を示すことで、目標達成に向け、意欲的に取り組むことができる。
音楽表現の 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる面から(歴史地理的・文学的・美術的)の楽曲のアナリーゼ(分析)を通して、旋律と詞との関係・曲想をとらえると、よりよい表現ができるようになることを実感できた。 楽曲の表現記号を忠実に再現し、どのような曲想かを分析し、そこからより良い表現の工夫につなげることができた。
音楽表現の技能	<ul style="list-style-type: none"> 楽曲の完成度を高めるように、生徒が個々に感受や表現の工夫を踏まえて目標を設定し、それに邁進したことによって表現力が培われ、個に応じた達成感を得ることができた。 歌唱や器楽の基本的な奏法を習得し、応用できる技能を身に付ける。
鑑賞の能力	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞曲の鑑賞のみに限らず、合唱コンクールでの鑑賞や、授業時においても他の生徒の歌唱やアルトリコーダーなどの演奏を聴く態度が養われてきている。 鑑賞教材を他の題材に結びつけ、音楽の総合的な力につなげることを目指す。

(2)音楽科の具体的授業改善策

観点	具体的な授業改善策
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間の目標を明確に設定し、その目標を通して達成感を感じられる、見通しをもった授業を展開していく。 毎時間、生徒同士での話し合いや発表の場を設ける。生徒が達成したこと、よい点や工夫した点などを具体的にほめる。 一つの題材に偏ることなく、歌唱、器楽、鑑賞、創作をバランスよく取り入れ、興味関心を持たせる。 一人一人に応じた支援をしていく。
音楽表現の 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 楽曲の完成度を高めるように、生徒が個々に表現方法などの目標を設定し、それに向かって表現する力を培い、達成感を得られるようにする。そのためにも基礎的な表現記号や音譜の読み取りをできるようにする。 音楽に対する自分の考えや思いを自分の言葉で表現し発言させる。 一人一人に応じた支援をしていく。
音楽表現の技能	<ul style="list-style-type: none"> 歌う際、姿勢・口形・発声に注目して、声と体をコントロールする技能の習得を試みる。 生徒も教師も音に対する具体的なイメージをもつことにより、よりよい響きに近づく実感を得られるようにする。 よい手本や目標となる表現を聴き分け、より理想的な音楽を表現できるようにする。 一人一人に応じた技能支援をしていく。
鑑賞の能力	<ul style="list-style-type: none"> 音楽の背景にある文化や歴史、他の芸術とのかかわりを理解させ、それらを総合的に感じ取って聴かせる。 音楽的な要素を感じ取れるよう、鑑賞のポイントを明確に示す。感想や評論文など、自分の意見を書く習慣を身に付けさせる。 一人一人に応じた支援をしていく。

学年	具体的な授業改善策
1学年	<ul style="list-style-type: none"> 教科書や提出物の忘れ物がないように、授業時や事前の連絡を徹底させる。 よい姿勢、発声を身につけ、感情表現を豊かに、ハーモニーを感じながらしっかりとのびのびと歌わせていく。 楽しくイメージを持って器楽演奏できるよう具体的に手本を示すなど、わかりやすい指導を目指す。 授業に集中させる。 一人一人に応じた支援をしていく。
2学年	<ul style="list-style-type: none"> よりしっかりと声で自信をもって、堂々と歌えたり、楽しいイメージをもって器楽演奏できるよう指導していく。 歌詞の内容を考え、表現につなげるなど、繊細な感情表現の部分を伸ばし、響き豊かに歌い上げられるようにする。 授業に集中させる。 一人一人に応じた支援をしていく。
3学年	<ul style="list-style-type: none"> 今まで学んだ技能を活かし、楽器の演奏や歌唱を通して、より豊かな自己表現に結びつける方法を学んでいく。 音楽に対する評論を書くなど、自分の意志をしっかりと持ち、全ての課題に意欲をもって取り組ませるようにする。 授業に集中させる。 一人一人に応じた支援をしていく。